

平成29年10月20日



森づくり集団「^{しほり}菜」事務局通信 Vol.109号

【今月のお知らせ】 【今月の活動報告】 【次回の活動予定】
【お知らせ/募集】 【編集後記】



2017.10.1 下富第3フィールド

シロヨメナです。

可憐な白い花を咲かせます。

【今月のお知らせ】

あおぞら共和国の森づくりボランティアも無事終了しました。

参加者の皆さまありがとうございました。

【今月の活動報告】

10月1日(日) 10:00 ～

下富第3&第2フィールド

参加者 / 豊島、中島、畑、吉田ひ、吉田あ、飯塚、坂本、北村み(敬称略)

活動担当者 / 緑川、土金

一般参加者 / 藤本

♪ 植生調査実施報告

平成 29 年度の秋季植生調査を実施しました。



【 植生調査風景 】

第三フィールドの伐採など管理作業を行うエリアに設定した調査対象区画Aでは、確認した構成種に大きな変化はみられませんでした。今回の調査ではフタリシズカが新たに調査区画内で確認されました。

林冠を優占する樹木などを伐採しない管理をおこなっているエリアに設定した調査対象区画Bでは、亜高木層のエゴノキが3本立ち枯れしていました。

前年度調査と比較して構成種に大きな差異は確認されませんでした。上部の樹種構成が変化したことにより、今後林床の光環境が変化することも推察されます。

立ち枯れを確認したエゴノキはこの林冠の樹種が伐採されない環境下では継続的に生育することは難しいことが推察されました。

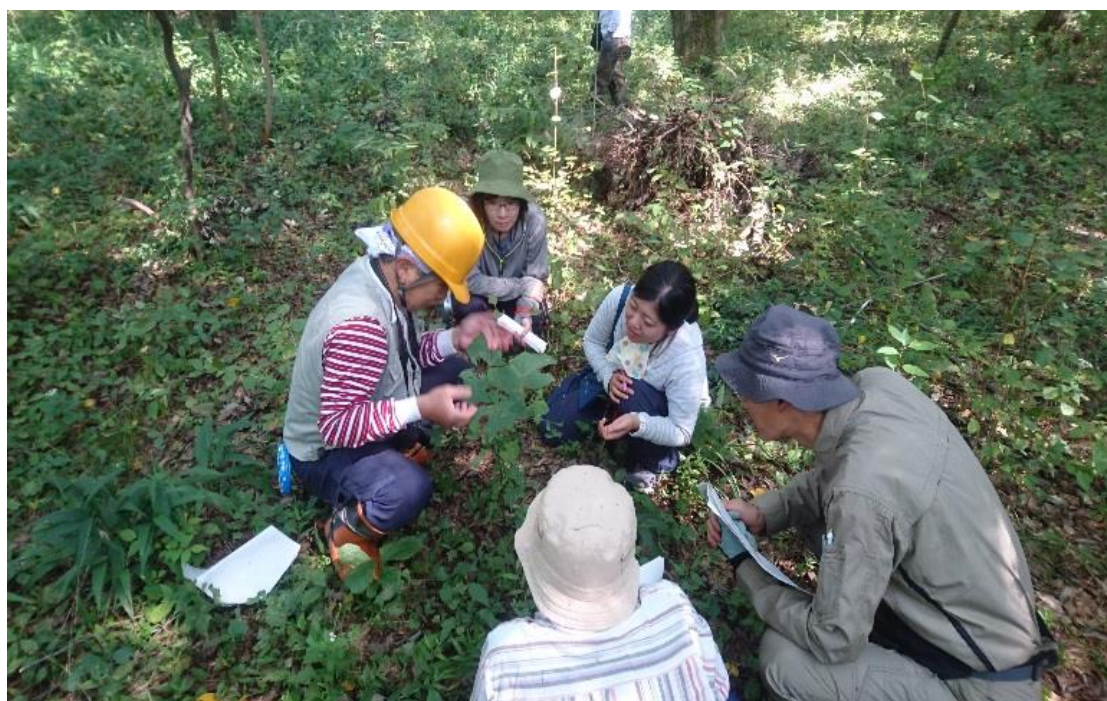
第三フィールド全体で確認した植物は昨年秋季に実施した状況と同様の 69 種でした。5月の調査時には 97 種を確認しており、春季に林床の植物が増加することが伺えます。

第二フィールド西側ではヒゴスミレやクモキリソウなどの絶滅危惧種を含んだ 80 種の植物を確認しました。昨年の調査では 92 種を確認していますが、今回は確認種数が 10 種程度減少しました。

理由として推察されることは、先月の作業で対象区画の下刈りをおこなった後、経過期間が短いことから下層植生がまだ復活していないものと推察されます。

第二フィールド東側ではササバギンランやキンランなど 101 種を確認しました。この区画は近年確認種数が増加傾向となっています。

当該区画は開伐をおこなった後、コナラの実生などを移植してから既に 10 年以上が経過した区画を含んでおり、一時的に鬱蒼としていた樹林が除伐や下刈りなどにより陽光が林床に届きやすくなったことが生育植物種数を増加させているのではないかと推察されます。



【豊島さんによるアカメガシワの巧みな戦略についての解説
を聞く参加者の皆さん】

(報告 吉田)

【次回の活動予定】

11月5日(日) 9:30～

集合は第1フィールドです。ヨガ講習会と第3フィールドの下刈り、枯損木伐採な
度を行います。

参加希望者はメンバーメールにてお知らせください。

参加者募集のお知らせ

森づくり集団「^{しほり}葉」は、毎月第1週日曜日に所沢下富のくぬぎ山で里山の手入れ
を行っています。

会員のほとんどが森林インストラクターの資格を取得し、初めての方には危険防止
のための注意事項、作業方法を丁寧にご指導いたします。

私たちは10年以上にわたり目的に応じた森の手入れをして、経過を観察し、新し
い発見、新しい取り組みを楽しんでいます。

また、植物の観察会、子供のための観察会、森の手入れ研修会などを企画していま
すので、興味のある方はぜひご参加下さい。

連絡先は下記事務局まで

【編集後記】



フジバカマです。

自生しているものは激減してお
り、市販されているものはヒヨ
ドリバナとの交配種です。

土金

森づくり集団「^{しほり}葉」事務局
アドレス info@mori-shiori.sakura.ne.jp
ホームページ <http://mori-shihori.a.la9.jp/>
事務局 緑川睦子